

平成27年度愛知県がんセンター公開講座(第2回)のご案内

「希少がんの知識」

= 平成27年7月18日(土)開催 =

〈 講師からのメッセージ 〉

「希少がんについて」

希少がんとは、発生頻度の低い悪性腫瘍の総称で、それぞれの罹患数が少なく、専門医や専門施設が少ないことから、有効な診断法や治療法の開発・一般化が困難な疾患です。治療法や医療機関に関する情報も少なく、患者さんが安心して治療を受けられる体制の整備が急がれています。平成24年6月に策定された第二期の「がん対策推進基本計画」においても希少がんの診療体制の構築が挙げられています。今回の講座では、希少がん全般、および現在の国内における取り組みについて説明いたします。

薬物療法部 医長 安藤 正志

「軟部肉腫の診断と治療～早期発見と的確な治療～」

軟部腫瘍は身体のだどの部分にも発生し、年齢も小児から高齢者までほぼ全年齢層で発症します。腫瘍の悪性度や治療法も極めて多岐にわたっており、症例の絶対数も少ないため標準的治療の確立が難しい疾患です。しかしながら初期治療を誤ると非常に予後の悪い腫瘍が存在することも知られています。軟部腫瘍の治療において大切な点は、悪性であるかどうかを的確に診断し、適切な治療が行われることです。本講演では愛知県がんセンターで経験した症例をもとに軟部腫瘍の診断と治療について、最新の知見を踏まえてお話したいと思います。

名古屋大学医学部保健学科 教授 杉浦 英志

「頭頸部（口・鼻・首・のど）がんについて」

頭頸部がんについてはじめて聞かれる方が多いと思います。そこで、診断から治療までの経過の大筋を説明し、頭頸部がんについて理解していただきたいと思います。

頭頸部がんとはくち（口腔、唾液腺）、のど（咽頭（物を飲み込む）、喉頭（声を出す））、はな（鼻腔、副鼻腔）、くび（頸部、甲状腺、リンパ節）に発生したがんの総称です。このように種々の部位がありますので、その症状や治療法も多彩です。

副院長兼頭頸部外科部長 長谷川 泰久